

2016/2/25 (Thu.) 第97号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 発行所
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込2-28-16
 〒113-8621
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金に含む)

日医連常任執行委員会・執行委員会開催

平成26年度収支決算・平成28年度負担金基準額を承認

執行委員会は今村聡副委員長はじめに横倉義武委員長が、次のように挨拶した。

「本日は、ご多忙のなか、執行委員会にご出席いただき感謝申し上げます。本年七月には参議院議員選挙が行われる。国会日程の関係もあるが今のところ七月十日投票と言われている。私も、日医連として初めて女性医師である、自見はなこ氏を推薦決定し、昨年からは後援会活動を都道府県医師連盟のご協力のもとに全国的に展開しており、本人が全国を廻っている。後援会名簿の収集もこれから本格化するが、日頃の後援会活動のなかにおいて名簿集めが、選挙結果に直結することは過去の選挙からも明白である。全国の先生

方には名簿集め、医療機関訪問等自見はなこ氏の後援会活動について引き続きご協力をお願いしたい。また、活動が上滑りにならないよう、参議院議員選挙に向けて後援会活動のさらなる活性化と、日医連の組織が全国一丸となり結束して参議院議員選挙に臨むことが極めて重要であるのようしく願いたい。

昨年末の診療報酬改定であるが、本来であれば消費税率が10%にアップし、財源が確保されるなかでの改定であるはずであったが、税率の引き上げ延期という厳しい財政状況のなかでの改定であった。そのため、当初は本体大幅マイナス改定という話さえあった。そのような状況下において、薬価は大幅な切り下げとなったものの、本体に

日医連執行委員会 参議院議員選挙に向けて 日医連の結束を!



日医連執行委員会で挨拶する横倉義武委員長

日本医師連盟は、一月十九日、日医会館で常任執行委員会と執行委員会を開催した。「平成二十六年度収支決算」「平成二十八年度負担金基準額」について審議を行い、全会一致で承認した。



日医連執行委員会 (1月19日)

ついでには10・四九%となった。本体の引き上げに関しては、全国各地でそれぞれのご地域の国会議員への働きかけや、国民医療を守る総決起大会等で医療界が一丸となって活動した姿勢が政府・与党からご理解をいた

平成26年度日本医師連盟収支決算報告書(別表)

期間収支計算書(平成26年4月1日~平成27年3月31日) (単位:円)

収入	
負担金	996,705,000
特別会費	0
寄付金	0
その他収入 ※銀行預金利子等	1,115,996
繰越金	1,008,375,275
合計	2,006,196,271
支出	
経常経費 (A) (人件費、備品消耗品、事務所費等)	70,841,462
政治活動費 (B)	961,514,118
・組織活動費	160,890,029
・選挙関係費	15,400,000
・機関紙誌発行その他の事業費	78,671,852
・調査研究費	1,967,478
・寄付交付金	704,584,759
支出計 (A+B)	1,032,355,580
剰余金	973,840,691
合計 (支出計+剰余金)	2,006,196,271
負担金未収入金	0

だき、考慮いただいた結果であると思っている。また、日医連推薦の羽生田俊参議院議員には、大変ご苦労をいただき、特に水面下でさまざまな調整を行っていただいていたことを先生方にご報告申し上げ開会の挨拶とする」

【平成二十六年度収支決算】

平成二十六年度日本医師連盟収支決算について、川島龍一会計責任者が配付資料に基づき収支内容の説明と報告を行った(別表参照)。

また、川島会計責任者から、昨年度に引き続き、本年度も負担金未収入金が「0」であることが報告され、関係者の協力に謝意が示された。

これを受け、鈴木勝彦会計監督者が「本日前、平成二十六年度収支決算について会計監督者三名で会計監査を行った結果、適正妥当であり、帳簿記載も的確であることを確認した」と報告した。とくに質問はなく全会一致で平成二十六年度収支決算を承認した。

負担金基準額は昨年度と同額で決定

【平成二十八年度負担金基準額】

平成二十八年度負担金基準額について、今村副委員長が、「昨年度と同様に一連盟会員あたり二万円とさせていただきます(二面に続く)

で、執行委員の先生方のご承認をお願いしたい」と提案した。審議の結果、平成二十八年度負担金基準額は原案どおり全会一致で承認された。

(一面より)

続いて今村副委員長から参議院議員選挙対策について、

「(1)サポーター名簿の収集について」現時点までの回収状況は目標達成にほど近い状況である。年が明けて、いよいよ活動が本格化することと思うが、さらなる署名簿の回収をお願いしたい。(2)選挙区の候補予定者の推薦について」各都道府県の選挙区における推薦申請については配布資料のとおりで、日本医師連盟推薦の必要のある候補者がある場合は随時日医連へ申請をお願いしたい」

都道府県の選挙区の推薦については、適宜推薦申請をお願いしたい」とした。



挨拶する 羽生田俊参議院議員

今村副委員長の説明を受けて、横倉委員長から「自見はなごさんはお会いした方が、『素晴らしい方ですね』とお話しをいただくが、名簿が集まらないという場合は、実際の後援会活動

続いて羽生田俊参議院議員が国会情勢の報告を行い、平成二十七年補正予算について説明を行い、自見はなご参与の後援会活動へのさらなる協力についても依頼があった。

自見はなご参与決意表明



決意表明を行う 自見はなご参与

自見はなご参与から決意表明が行われた。

「昨年一月の執行委員会の日医連参与に就任させていただいてから、はや一年が経ち、全国の先生方として事務局の皆さまに支えられ活動を行って参ることができましたこと、感謝申し上げます。全国を廻らせていただければ幸いです。それぞれの地域の抱えている事情や課題

動があまり行われていないとも言えるわけで、後援会の名簿集めこそが後援会活動の基礎であり、その後の結果にも強い関係を示している、今一度、各県で名簿集めの徹底をお願いしたい。」

題を、地域の先生方から教えていただき、勉強をさせていただいております。また、全国どこでも保険証があれば医療機関を受診することの『国民皆保険制度』、このかけがえない制度は、地域の医師会の先生方の並々ならぬご努力で維持されていること、心を打たれております。また、徐々に日本でも格差社会が広がってきておりますが、私たち医療従事者の責務としてこの『国民皆保険制度』を守り、育てなくてはならないと日に日にその思いを深くしているところであります。先生方がお支えいた



ガンバロー!!



日本医師会・日本医師連盟合同新年会で挨拶する 谷垣禎一自民党幹事長 (1月19日 日医会館)

いているものは患者さんの命であり、その先の家族、そして社会を私たち医療従事者は支えている、このことを多くの国民の皆さまにしっかりと伝え、理解していただきたい。

私は小児科医ですが、現在子ども子育て支援が叫ばれているなか、政策立案の中心である与党の自民党・公明党には小児科の医師議員は一人もいないのが現状であり、そのことも変えていかなくてはならないと強い決意で臨んでおります。

日頃の診療に加え、医師会活動もされているなか、さらに私の後援会活動へのお力添えをいただきことは大変嬉しいお願いではあります。絶大なご支援をお願い申し上げます。私自身は全力で駆け抜ける覚悟で臨みますので、どうぞよろしくお願い申し上げます」



自見はなご参与と稲田朋美自民党政務調査会長



溝手顕正自民党参議院議員会長



伊達忠一自民党参議院幹事長

のち、日医連の結束とますますの自見はなご参与の後援会活動の活発化を誓い合い中川俊男副委員長の発声でガンバローが行われ、松原謙二副委員長の閉会の辞で執行委員会は閉会となった。

執行委員会終了後、日本医師会・日本医師連盟合同新年会が開催された。新年会には、自民党の谷垣禎一幹事長、稲田朋美政務調査会長、溝手顕正参議院議員会長、伊達忠一参議院幹事長ら幹部をはじめ、医師の国会議員が来賓として出席し祝辞を述べた。

日医連常任執行委員会



日医連常任執行委員会 (1月19日 日医会館)

一月十九日、日医連は、常任執行委員会を開催し「平成二十六年収支決算」「平成二十八年度負担金基準額」について審議を行い、全会一致で承認した。承認された議案はそのうち開催された、日医連執行委員会で審議された。